

宮本昌典さん (2014・2017年度奨学生)

2017世界ジュニアウエイトリフティング選手権大会

東京都大田区総合体育館
2017年6月18日(日)

自国での世界ジュニア戦。
出場できる最後の年に、目指すのは金メダル

今年の世界ジュニア戦は、日本での開催。3月に20歳となったの宮本さんが出場できるのは最後となる。昨年は銅メダル、今年は金メダルが目標だ。

応援に会場に着くとさすが世界大会、ステージはライトアップされ華やか。定刻にスポットライトを浴びて選手たちが登場してきた。試合前にばったり廊下で出会った宮本さんは「体調は今ひとつ」と言っていたが、元気に会場にアピールしてくれた。



1競技めスナッチ、 自らのジュニア日本記録を塗り替えて1位！

69kg級の試合が始まり、10名のエントリーリストが会場スクリーンに表示された。1競技めのスナッチで最高重量を申請している宮本さんは、試技順の一番最後だ。下位選手が3回の試技を終

えていき、宮本さん登場。これまでの大会よりずっと大きな声で気合い入れてバーベルに向かう。少し緊張してるかも。が、見事139kgを成功！この時点で宮本さん含め4名の選手が残った。うち

一人、イタリアの選手が宮本さんを超えて140kgを成功させたが、宮本さんが142kgを成功。やった、これでスナッチの1位が確定だ。

宮本さんの独走状態となり、宮本さんは少しずつ申請重量を上げて行く。こうすることで制限時間を止めて、休めるようにしているらしい。

チャレンジは147kg。自らのジュニア日本記録145kgを更新するこの重さを、宮本さんは見事に頭上に挙げきった。まずはスナッチで1位。おめでとうございます！



●スナッチ競技●

背筋・脚の蹴り上げる力・腕の引き上げる力を爆発的に発揮し、バーベルの真下に一気に入り支える

2競技め、クリーン&ジャークで2位。 トータルで悔しい銀メダルに

2競技めクリーン&ジャーク競技がスタート。宮本さんはあと2人を残して8番目に登場。168kgを成功させた。そして2回めの試技以降は、クリーン&ジャークを得意とするアメリカのカミングス選手との勝負になった。

宮本さんが先に2回めの試技を行い、173kgを成功させた。3回め試技の申請重量を少しずつ上げていく宮本さん。狙うのはスナッチ競技との合計トータル優勝だ。

いよいよ宮本さんは最終178kgをチャレンジ。自らのジュニア記録と、さらに日本記録を塗り替える重さ、宮本さんは腰をおろして胸までバーを引き上げた、が、残念ながら立ち上がることができなかった。

2回の試技を残していたカミングス選手は183kgを成功させた。宮本さんの重量はトータルで320kg。金メダルには1kg及ばなかった。

●クリーン&ジャーク競技●

まず胸(鎖骨まで)バーベルを引き上げ(クリーン)、バーベルを維持しながら脚のバネと腕の力を利用し頭上に持ち上げる(ジャーク)



2回め173kg
を成功、会場
の声援に応
えてガッツ
ポーズ！

3回め。
立ち上がれ
なかった...



結果：スナッチ、クリーン＆ジャーク



表彰式でまず、スナッチ・金メダルを受け取る宮本さん。

1位の台に立ちながらも、トータルで優勝できなかった悔しさでいっぱい

69 kg Men Snatch

Rank	Name	Born	Nation	B.weight	Group	1	2	3	Result
1	<u>MIYAMOTO Masanori</u>	03.02.1997	JPN	68.92	A	139	142	147	147
2	<u>ZANNI Mirko</u>	16.10.1997	ITA	68.60	A	138	138	140	140
3	<u>MOSQUERA LOZANO Jose David</u>	09.10.1998	COL	68.00	A	133	137	139	139
4	<u>CUMMINGS JR Clarence</u>	06.06.2000	USA	68.56	A	134	138	141	138
5	<u>BAK Juhyo</u>	29.06.1997	KOR	68.72	A	132	137	138	138
6	<u>ILHAN Ramazan</u>	20.12.1998	TUR	68.36	A	136	139	141	136

Clean&Jerk

Rank	Name	Born	Nation	B.weight	Group	1	2	3	Result
1	<u>CUMMINGS JR Clarence</u>	06.06.2000	USA	68.56	A	173	183	186	183
2	<u>MIYAMOTO Masanori</u>	03.02.1997	JPN	68.92	A	168	173	178	173
3	<u>DUMITRASCU Paul</u>	31.01.2000	ROU	68.85	A	165	170	171	171
4	<u>LIU Weijian</u>	05.05.1999	CHN	67.91	A	169	174	174	169
5	<u>BAK Juhyo</u>	29.06.1997	KOR	68.72	A	167	172	172	167
6	<u>ZANNI Mirko</u>	16.10.1997	ITA	68.60	A	164	168	168	164

結果:トータル



金メダルしか考えていなかったの、悔しいです。C&Jでは、記録更新ではなく、相手選手との差を考えてチャレンジしました。挙げられなかったのは、自分の情け(甘さ)が出てしまったと…。金メダルへのプレッシャーもありましたが、東京オリンピックに向けていい経験になりました。



表彰式で涙にくれた宮本さん。1964東京オリンピック金メダリストであり所属の東京国際大監督の三宅さんと。「笑顔で」と写真を求められても涙が止まらない。その悔しさ、今までの努力とこれからの決意を思い、周りも涙

世界での2位は、素晴らしい成果。自身の日本ジュニア記録も更新、おめでとうございます！東京オリンピックでは、笑って表彰台に立ってください。応援しています！



69 kg Men

Rank	Name	Born	Nation	B.weight	Group	Snatch	Cl&Jerk	Total
1	CUMMINGS JR Clarence	06.06.2000	USA	68.56	A	138	183	321
2	MIYAMOTO Masanori	03.02.1997	JPN	68.92	A	147	173	320
3	BAK Juhyo	29.06.1997	KOR	68.72	A	138	167	305
4	ZANNI Mirko	16.10.1997	ITA	68.60	A	140	164	304
5	MOSQUERA LOZANO Jose David	09.10.1998	COL	68.00	A	139	163	302
6	DUMITRASCU Paul	31.01.2000	ROU	68.85	A	127	171	298
7	NGUYEN Quang Truong	14.01.1999	VIE	68.37	B	133	163	296
8	ZAREEI Mostafa	07.11.1997	IRI	68.70	A	133	162	295
9	ILHAN Ramazan	20.12.1998	TUR	68.36	A	136	155	291
10	CHUANG Sheng-Min	10.07.1998	TPE	69.00	B	130	160	290